指導分野・指導方針・指定課題

教 員 名	片岡志保
指 導 分 野 (テーマ)	社会的養護を必要とする子どもと養育者に関する研究 子どもの「しあわせ」に関する研究
指 導 方 針	<p>(1) 指導を希望する学生へのメッセージ</p> <p>子どもに関心を持ちつつ、モヤモヤとした気持ちを抱えている方はぜひ、そのモヤモヤを明らかにしてみませんか。ただ、1年間で論文を仕上げるといことは相当なエネルギーを要します。研究計画書を提出していただく時点で「モヤモヤ」が「確かな問題意識」になっていることを期待します。また、私は、みなさんがなぜそのような問題意識を持ったのか、どのような研究をしたいと思っているのか（何を明らかにしたいのか）ということを知りたいと思っております。「研究計画書の書き方」等、示された書類を丁寧読み、真摯な姿勢で「共通課題」に取り組んでください。</p> <p>社会的養護を必要とする子どもたちは厳しい現実の中で懸命に生きています。私自身、児童養護施設で働いた経験をもっていますが、子どもたちを支える養育者もまた、子どもとともにしがき苦しみ、迷いながら働いています。</p> <p>私は、子どもが子どもらしく過ごせたら...と願い、研究を続けています。「子どもが子どもらしく過ごす」とはどういうことなのか、「子ども」とは何か「子どもらしい」とは何か、疑問が尽きませんね。人間にとって根幹となる乳幼児期を含む子ども期が「しあわせ」であることは、人類にとって大切なことです。</p> <p>子どもを主体に、子どもにとっての「最善の利益」を考えながら、みなさんと一緒に、研究に取り組むことができることを心より楽しみにしています。</p> <p>(2) 指導日程</p> <p>4-5月 教員との対話を通して問題意識を明確にし、研究テーマを確認する 先行研究を検討し課題を明らかにする（問題の所在の明確化）</p> <p>6月 研究目的を明確にする 研究課題を設定し研究方法を決定する</p> <p>7月 分析材料を抽出し必要に応じて調査を行う 論文の構成と章立てを検討し執筆にとりかかる</p> <p>8-9月 30-40%の完成を目標に執筆をすすめる 適宜内容の確認を行う</p> <p>10-12月 執筆をすすめ、12月中に論文を完成させる</p> <p>1月 最終確認を行い、論文を提出する</p> <p>(3) 指導のコミュニケーション手段</p> <p>①2か月に1回程度の対面指導</p> <p>②オンラインによる指導</p> <p>③メールによる指導</p>
指 定 課 題	特になし